



福岡県北九州市

～多彩な支援メニューを用意し、
事業者に合わせた支援を実施～

取組のきっかけ

平成29年度から事業承継支援に取り組み、当初は、啓発セミナーや専門相談窓口など、意識の醸成が中心だったが、令和4年度に実施した市の中小企業実態調査等を機に、事業承継を契機として地域に人材を呼び込むことや企業成長に繋げることの重要性に着目し、後継者不在企業とのマッチング支援やアトツギベンチャーの支援にも力を入れている。

支援機関との連携に加え、民間プラットフォーマーや全国初となるサーチファンド事業者（※）との連携協定を通じ、マッチングサイトの運営、経営者を目指す優秀な経営人材（サーチャー）への補助など先進的な支援策を展開。

取組（支援策）の概要

①相談窓口の設置、セミナーの開催	②助成金制度の整備
事業承継・引継ぎ支援センターと連携して相談窓口を設置、市内事業者が気軽に相談できる環境を整備。また、譲り手・継ぎ手向けに様々なセミナーを複数回開催し、気づきの機会を提供。	事業承継時に要する経費の助成金制度を整備。事業承継計画の策定やM&Aの仲介委託等に要する経費の一部を助成し、親族・従業員承継や第三者承継（M&A）の準備・実行を促進。
③サーチファンドとの連携（全国初）	④マッチングサイトによる後継者募集
サーチファンド事業者と連携し、サーチャーの調査活動費の一部を助成することで、優秀な経営人材を全国から市内に呼び込み、後継者不在企業とのマッチングを図る。	民間事業者が運営するプラットフォームを活用し、 <u>同市専用のマッチングサイト</u> を開設。譲り手事業者の想いや数字に表れにくい魅力を全国にPRし、継ぎ手希望者との繋ぎを全面的にサポート。



北九州市専用マッチングサイト



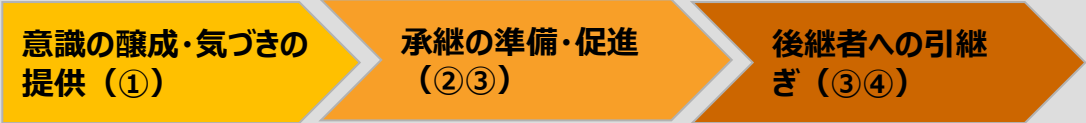
サーチファンド事業者と連携協定を締結

近年の拡充支援の取組

- 北九州市が開催した事業承継セミナーでの意見交換をきっかけに、市内事業者の第三者承継の選択肢を増やす観点から、サーチファンド事業者との連携を検討。地元根付く企業を育てるという想いを共有するサーチファンド事業者2社と令和5年度に連携協定を締結。
- 令和6年度は、市内中小企業の8割を占める小規模事業者を対象に、ノンネームとオープンネームの両方で後継者を募集できる環境を整備するため、オープンネームでの専用マッチングサイトを立ち上げるとともに、アトツギ（後継者・後継候補者）を育てる伴走支援を開始。

本事例のポイント

☛ 啓発・掘り起こしから引継ぎまで一貫した支援策を用意することで、幅広い支援ニーズに対応。



☛ 民間プラットフォーマーや「全国初」となるサーチファンド事業者との連携を通じ、マッチングサイトの運営、経営者を目指す優秀な経営人材（サーチャー）への補助など先進的な支援策を展開。

※経営者を目指す個人（サーチャー）が、投資家等の支援を受けて中小企業の事業承継を行い、経営者として企業価値の向上を目指す仕組みを「サーチファンド」といい、そのサーチファンドを投資等を通じて支援する事業者。